

北海道浮魚ニュース

平成 18(2006)年度 8 号 (通巻 No.221)

2006 年 7 月 18 日

北海道立水産試験場

ホームページ : http://www.fishexp.pref.hokkaido.jp/ukiuo/uki_index.htm

第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報発表される

7 月 14 日に平成 18 年度第 1 回太平洋スルメイカ長期漁況予報文が、水産庁より発表されました。詳細な予報文は下記のホームページに掲載されます。

水産庁 URL : <http://www.jfa.maff.go.jp/release/index.html>

今後の見通し (2006 年 7 ~ 9 月)

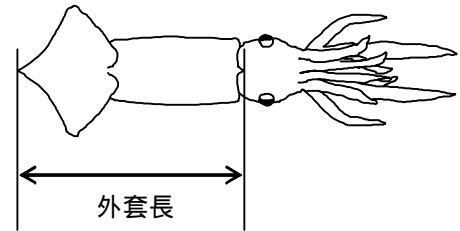
対象魚種 : スルメイカ

予測海域 : 北海道東部 ~ 根室海峡周辺海域、
津軽海峡 ~ 北海道南部海域、
常磐 ~ 三陸海域

対象漁業 : いか釣り、底曳き、定置網、まき網

対象魚群 : 冬季発生系群 (2006 年級群)

注) 魚体の大きさは外套長で表示(右図参照)



北海道東部 ~ 根室海峡周辺海域 (いか釣り、定置網)

(1) 来遊量 : 2005 年並みかやや下回る。

(2) 漁期・漁場 : 北海道東部海域の漁場形成は 2005 年並み。
根室海峡周辺海域の漁場形成は 10 月以降になる。

(3) 魚体 : 8 月は 18 ~ 22cm が主体。

津軽海峡 ~ 北海道南部海域 (いか釣り、定置網)

(1) 来遊量 : 2005 年を上回る。

(2) 漁期・漁場 : 津軽海峡は期間を通じて漁場となる。
津軽海峡東口 ~ 北海道南部海域の漁場形成は、2005 年よりやや遅れる。

(3) 魚体 : 8 月は 19 ~ 21cm が主体。

常磐 ~ 三陸海域 (いか釣り、底曳き、定置網、まき網)

(1) 来遊量 : 2005 年を上回る。

(2) 漁期・漁場 : 期間を通じて漁場となる。

(3) 魚体 : 8 月は 20 ~ 24cm が主体。

今年の 6 月の漁場一斉調査の平均 CPUE は前年をやや上回ったため (図 1, 2), 道南太平洋への来遊量は前年を上回ると予想されます。道東太平洋への来遊量は、漁場一斉調査の平均 CPUE は前年をやや上回ったものの、5 月の表層トロール調査の平均漁獲尾数が前年を下回ったため (図 3), 前年並みかやや下回ると予想されます。

(文責 : 釧路水産試験場資源管理部, TEL:0154-23-6222、FAX:0154-23-6225)

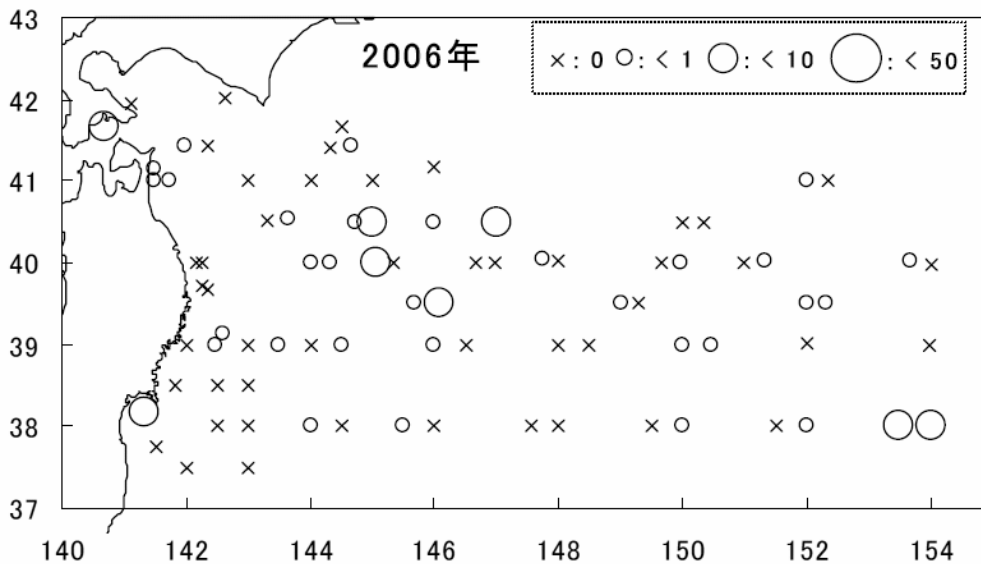


図1 2006年6月の漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度
 図中の の大きさはCPUE(自動イカ釣り機1台1時間当りの漁獲尾数)を示す。

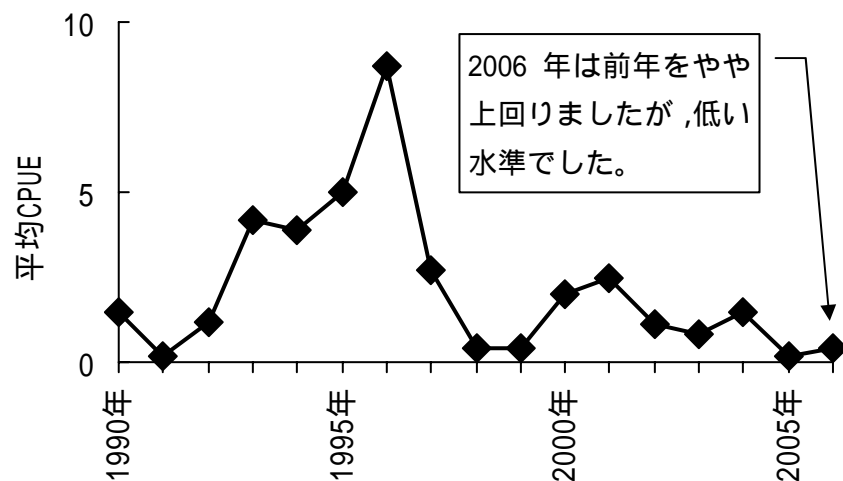


図2 6月の漁場一斉調査におけるスルメイカの分布密度(平均CPUE)の経年変化

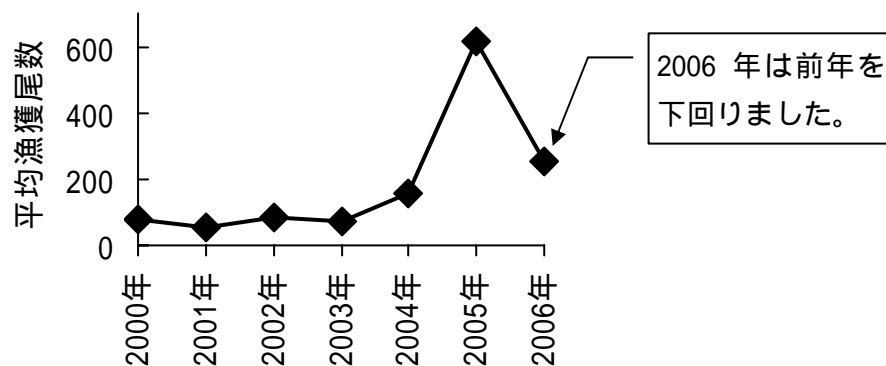


図3 5月の表層トロール調査におけるスルメイカの分布密度の経年変化
 注) 図と元データは平成18年度第1回太平洋スルメイカ長期漁況予報会議資料
 (独立行政法人水産総合研究センター北海道区水産研究所取りまとめ) などより。